



開校31周年

# 三小だより

令和2年4月30日 発行

<5月号>

江戸川区立南葛西第三小学校

校長 浅野 努

3 すべての人に  
健康と福祉を



## 人の和

副校長 竹越 康晴

新緑の美しさが日に日に増していく時節を迎えました。私はこの季節が1番好きです。校庭にもたくさんの命が芽吹きます。去年はさつまいもやあさがお、ミニトマトの新芽を紹介しました。今年もたくさんの植物たちが命を輝かせています。しかし、これら校庭の植物たちの中に、子供たちが育てたものが、今年はないのです…。この爽やかな時を手放して喜べる状況ではないのが残念です。



4月には門扉に電子錠を設置し、7月には体育館の空調設備が整う予定であり、今年度も子供たちの教育環境を向上させ、息巻いていました。でも、肝心の子供たちがいないのです。主人公がいません。学校は今、静かに時を重ねています。



しかしながら、職員はただ手をこまねているわけではありません。校長のリーダーシップの下、指導計画の修正や教材の準備に力を注いでいます。在宅勤務を強いられる中、子供たちが学校に戻ってきた時にスムーズに教育活動が進められるよう、力を注いでいます。職員一同、学校再開の日を楽しみにしています。



約1400年も前の古代日本において、厩戸皇子（うまやどのおうじ：聖徳太子）が、十七条の憲法を定めたといわれています。その第一条には次のようにうたわれています。「和をもって貴しとなし、あらそうこと無きを心がけなさい」（訳文）1400年も昔から、人間同士の思いやりや協力することの大切さを説いています。

今月号の学校便りを執筆するうえで、実は昨年度の学校便り6月号の表題「人の和」を変えていません。私は昨年同様、今もこの人の和の大切さを改めて思っています。新型コロナウイルスによる影響から、子供たちを守るために日々、力を尽くしている保護者の皆様。少しでもよい教育活動を進められるよう準備をしている職員。たとえ感染した人が出たとしても人としての思いやりをもって、みんなの力を合わせてこの状況を乗り越えていきたいです。

### お知らせ

- ① 家庭科の講師が決まりました。御紹介します  
住吉 和美（すみよし かずみ） 5年生と6年生の家庭科を担当します。よろしくお願いします。
- ② 「学校だより」は学校評議員・近隣の皆様に配布していましたが、コロナウイルス対応により、しばらくホームページへの掲載のみにさせていただきます。御了承ください。